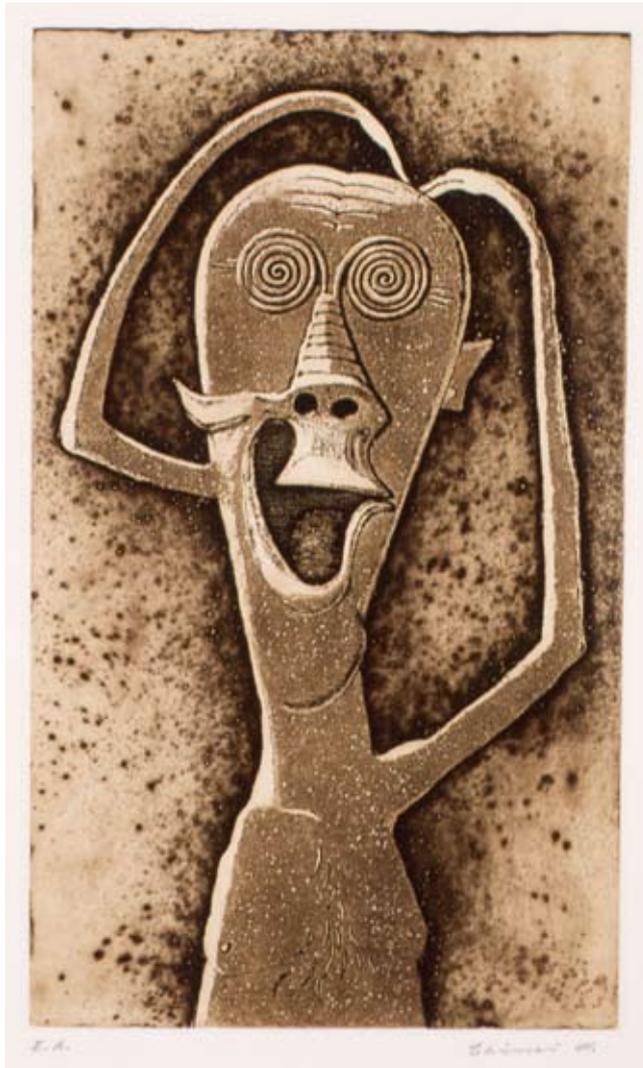


# The World of HAMADA Chimei Elegy and Humor in Prints and Sculptures

## 版画と彫刻による哀しみとユーモア 浜田知明の世界展



《アレレ…》 1974年 エッチング、アクアティント、紙

会 期：2010年7月10日(土)－9月5日(日)

\*会期中展示替えがあります。

前期 7月10日(土)－8月8日(日)

後期 8月10日(火)－9月5日(日)

会 場：神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1

tel: 046-875-2800

休 館 日：月曜日 [ただし7月19日(祝)は開館]、  
7月20日(火)

開館時間：午前9時30分～午後5時  
[入場は午後4時30分まで]

観 覧 料：一般 1000(900)円

20歳未満と学生 850(750)円

65歳以上 500円 高校生 100円

※( )内は20名以上の団体料金

※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。

主 催：神奈川県立近代美術館

協 力：熊本県立美術館、ヒコ画廊

### ■お問い合わせ先

神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1

tel.046-875-2800 / fax.046-875-2968

広報担当：土居、稲庭 展覧会担当：橋、稲庭

### ■プレスリリース及び展覧会情報は、

美術館ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

版画家、彫刻家として、92歳になる今もなお活躍する浜田知明の展覧会を開催します。浜田知明は、1917(大正6)年、熊本県上益城郡高木村(現・御船町高木)で生まれ、青春時代に戦争を体験した世代です。中国に出征した浜田は、軍隊体験をもとに戦後制作した〈初年兵哀歌シリーズ〉(1950-54)によって高い評価を受けました。そのシリーズに終止符が打たれたのちも50年以上、戦争をテーマにした作品を描き続ける一方で、多岐に亘るテーマの版画も多く描き出してきました。

また彫刻家としての制作も、すでに20年以上になります。この5年間にも未発表の新作が制作され、今回の展覧会で紹介します。そして、〈初年兵哀歌シリーズ〉の底に流れる人間への深い愛は、その後50年間、版画と彫刻を通して制作し続けてきた活動の中に脈々と受け継がれてきています。

浜田知明の作品を見ていくと、《ボタン(B)》や《取引》などでは、現代社会が直面する重大な問題への風刺と糾弾を容易に認めることができるでしょう。また、《情報過剰な人間》や《だめな奴》には人間の孤独感や疎外感が表われ、冷静に表現する浜田知明という芸術家に、現代人の正体を暴き出す知見者としての側面も認めることができます。《見られている・・・》などが表わす、他者から監視される現代社会の不安は、一見自由な社会への警鐘と言えるでしょう。最近作の《壁にぶちあたった男とそれを見て嗤う男》は、人間が生きていくうえで繰り返しおこなってきた涙と笑いのドラマを見事に表わしています。このように鋭い人間観察による浜田知明の芸術は、深い愛情を背景に人間存在の哀しみとユーモアを豊かに表現し続けています。今回の展覧会は、版画173点、彫刻73点、油彩画4点のほか、デッサンやスケッチ、資料など約80点、総計約330点による浜田知明の世界を展覧するものです。単に喜怒哀楽という範囲を超えて、人間への信頼を失わない浜田知明の表現する人間たちに、慈愛にも似た大なる愛情を感じ取っていただけることでしょう。

### 講演会

講 師：橋 秀文(担当学芸員)

日 時：8月7日(土) 午後1:30～3:30

定 員：先着70名(要申込)、無料

申込方法：住所、氏名、電話番号、FAX番号をお書きの上、  
FAXにてお申し込みください。

申 込 先：神奈川県立近代美術館 葉山 FAX 046-875-2968

申込締切：7月31日(土)

### 担当学芸員によるギャラリートーク

日 時：7月24日(土)、8月21日(土)

各回午後2:00～2:30

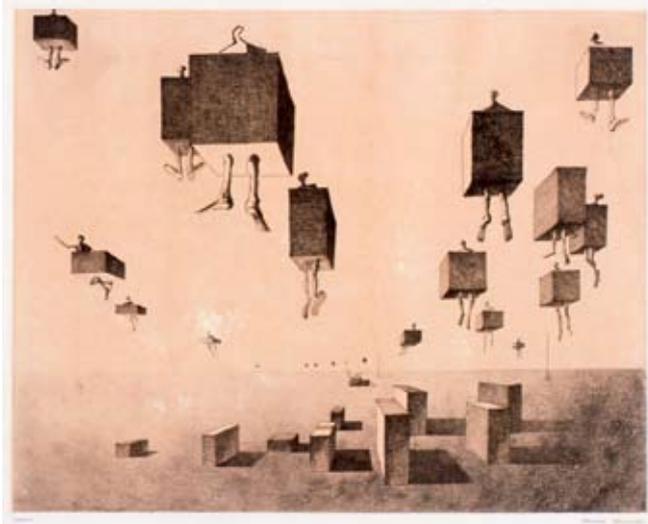
申込不要、無料(ただし「浜田知明の世界展」の観覧券が必要です)

### 学校の先生のための特別鑑賞の時間

日 時：7月24日(土) 午後2:00～4:30

\*事前予約が必要です。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

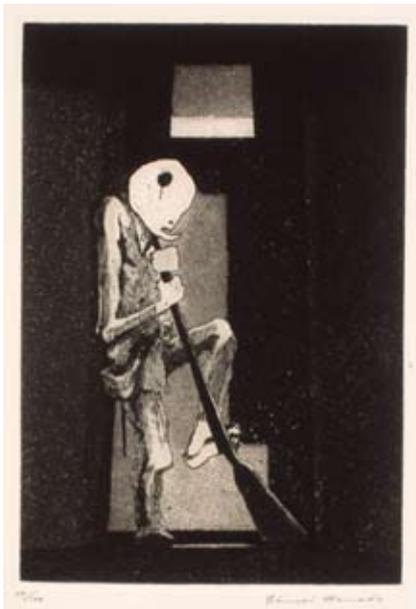
ファミリー・コミュニケーションの日：毎月第1日曜日(今回は8月1日と9月5日)は、18歳未満または高校生以下のお子様連れのご家族は、優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。



《飛翔 (ピンク)》 1958年 エッチング、アクアティント、紙



《ボタン (B)》 1988年 エッチング、アクアティント、紙



《初年兵哀歌 (歩哨)》 1954年  
エッチング、アクアティント、紙



《水》 2005年 ブロンズ ©藤本健八



《壁にぶちあたって男とそれを喰う男》  
2005年 ブロンズ ©藤本健八

## ■浜田知明 略年譜

- 1917 (大正 6) 12月23日、熊本県上益城郡高木村 (現・御船町高木) に生まれる。
- 1934 (昭和 9) 東京美術学校油画科に入学。
- 1939 (昭和 14) 東京美術学校油画科卒業。
- 1940 (昭和 15) 2月、中国大陸に派遣される。
- 1945 (昭和 20) 9月、敗戦により除隊復員。
- 1950 (昭和 25) 駒井哲郎のプレス機で《聖馬》、《芋虫の兵隊》を作る。
- 1951 (昭和 26) 〈初年兵哀歌〉シリーズの発表を始める。
- 1956 (昭和 31) 第四回「白と黒」国際版画展 (ルガノ) において《初年兵哀歌 (歩哨)》で次賞受賞。
- 1964 (昭和 39) 10月、渡欧。おもにパリに滞在。
- 1979 (昭和 54) アルベルティーナ国立素描版画美術館 (オーストリア、ウィーン) とグラーツ州立近代美術館 (オーストリア、グラーツ) で「浜田知明展」を開催。
- 1980 (昭和 55) 神奈川県立近代美術館で「浜田知明・銅版画—《初年兵哀歌》から《取引》まで—」を開催する。
- 1993 (平成 5) ロンドンの大英博物館・日本館で《浜田知明展》を開催。
- 2000 (平成 12) 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館で「浜田知明—彫刻による風刺」が開催される。
- 2007 (平成 19) ウフィツィ美術館 (イタリア、フィレンツェ) に版画19点が収蔵されることになり、素描版画室において記念展が開催される。



作家ポートレート (2010年) 撮影：藤本 彦